

中部地方整備局のバリアフリーの取り組み

令和8年7月31日



国土交通省 中部地方整備局

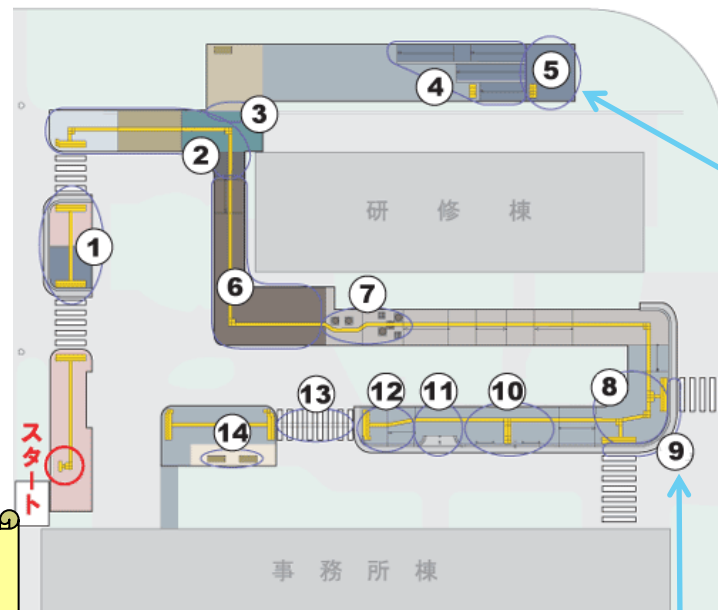
中部技術事務所におけるバリアフリー体験歩道施設 国土交通省 中部地方整備局

中部技術事務所構内には、バリアフリー体験歩道施設があり、開庁日の午前10時から12時まで、および午後2時から4時まで、体験参加の受付をしています（利用申込書の提出による事前申込みが必要です）。

中部技術事務所HP バリアフリー歩道体験【<https://www.cbr.mlit.go.jp/chugi/barrierfree/index.html>】

バリアフリー体験施設 14種類

- ①透水性舗装
- ②誘導ブロックと舗装面の輝度比
- ③グレーチング(側溝のふた)
- ④スロープ(坂路5・8・12%)
- ⑤車いすの回転スペース
- ⑥ガタツキの少ないブロック舗装
- ⑦誘導ブロックとマンホール
- ⑧交差点付近の誘導ブロック
- ⑨歩道と車道の段差(0・1・2・3cm)
- ⑩バス停
- ⑪車両乗り入れ部
- ⑫斜めの誘導ブロック
- ⑬エスコートゾーン
- ⑭ユニバーサルデザインベンチ



車いす体験

車いすに乗り、坂や段差を体験します

④スロープ(坂路:5・8・12%)走行体験

縦断勾配5%(1m進むと5cm上がる)、8%(1m進むと8cm上がる)、12%(1m進むと12cm上がる)の坂を車いすで上り下りします。



出来る限り介助者に押してもらわず、自分の力で上ってもらいます。



3cmの段差は勢いだけでは上がりません。実際に車いすで生活している職員からコツを教えています。



視覚障がい者体験

目隠しや目を閉じた状態で介助者と誘導ブロックの上を白杖を使って歩きます。



ブロックの上に自転車を置き、誘導ブロック上の障害物が視覚障がい者にとってどれほど邪魔なものか体験します。



歩道をまっすぐ歩くだけでなく、交差点や分岐、高さの違う歩車道の段差など、さまざまな体験をします。

⑨段差(0・1・2・3cm)体験

白杖・車いすで歩車道段差0cm、1cm、2cm、3cmを体験します。



<令和7年度における体験実績>

中学生、自治体の方など、約100名の方に体験していただきました。多くの方に障がい者への理解、バリアフリーへの意識向上となる貴重な体験となったとの感想をいただきました。

- 2026年に愛知県で開催が予定されているアジア競技大会の競技会場までのアクセスルートについて、バリアフリー化の推進を図っている。
- Aichi-Nagoya2026アクセシビリティ・ガイドラインに基づき整備を行っていく。

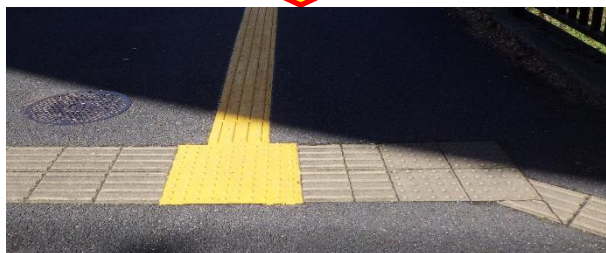
対策事例

名古屋市営地下鉄丸の内駅出口～公館東西第3号線終点部(約500m)

陸上競技(競歩)が行われる市役所周辺コースの西側に設置する観客入口までのアクセスルートを対象に、連続的に視覚障がい者誘導用ブロックを設置し、合わせてルート内の段差の解消を実施する。

視覚障がい者誘導用ブロックの設置

- アクセスルート間に視覚障がい者誘導用ブロックを整備することにより、視覚障がい者が安全に歩くことが可能。



【新御園橋交差点付近】

ルート内の段差の解消

- 車いす等の身体障がい者や高齢者の通行の安全性向上。



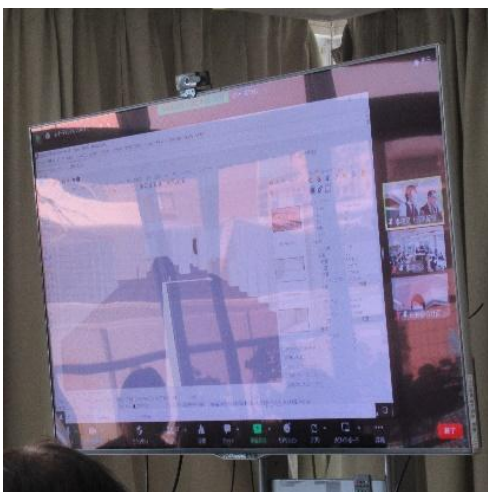
【新御園橋交差点付近】

PFI事業者より提案されたバリアフリーの取組事例

- 国の庁舎として「働きやすく使いやすい」と「気軽に訪れる施設」の二つをテーマに、設計段階のUDワークショップを開催。
- 学識経験者がアドバイザーとして、30余の障がい関係者団体に所属する計32名の方が参加。
- 主に、建物への誘導方法やトイレ周りなどの計画について図面や3Dによる画像空間を活用して説明を行い、参加者から100を超える意見を徴取。設計に反映するよう検討。
- 今後、施工段階におけるUDワークショップを開催予定。

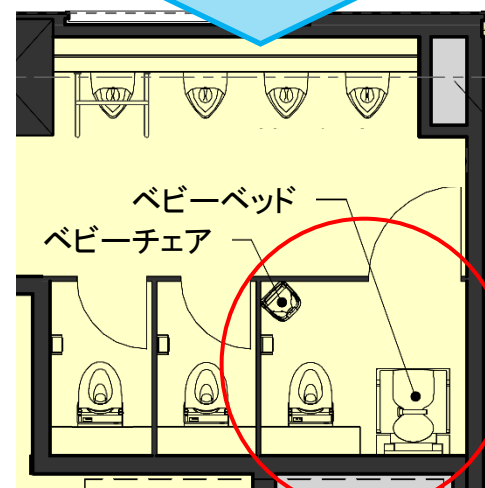
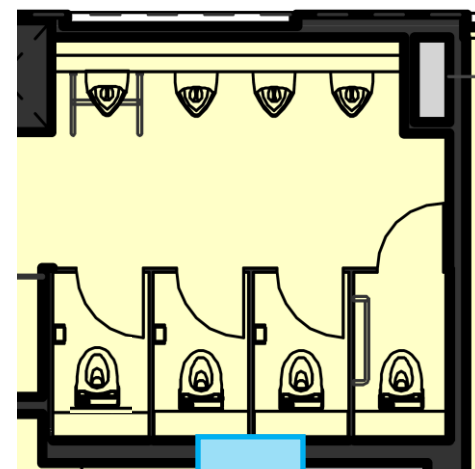


開催風景（現地参加＋Web参加）



3Dモデルを用いた説明

便所レイアウト改善案(例)

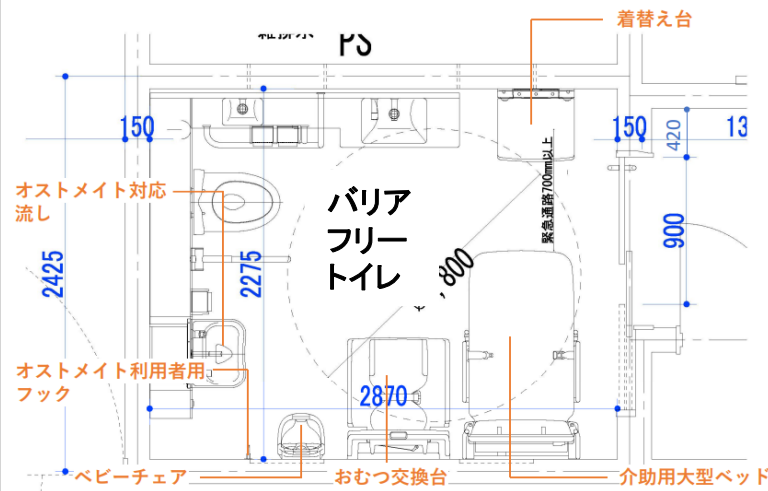


ベビーベッドなどをバリアフリートイレから男女トイレのブースに設置し機能を分散

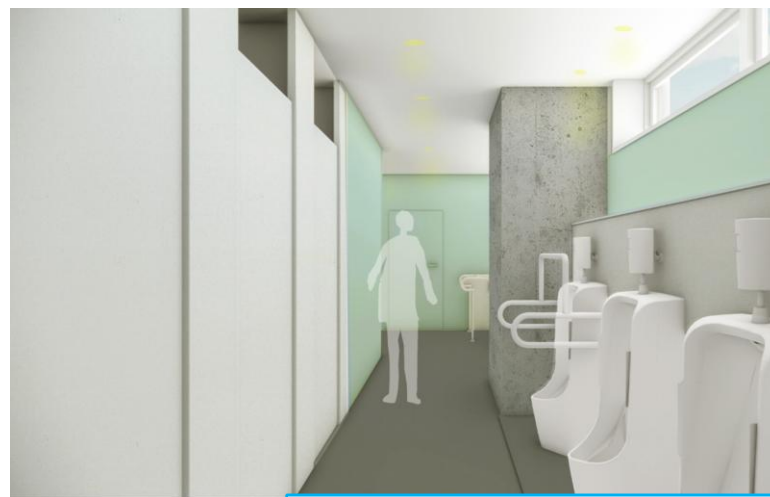
バリアフリーの取組事例(施工段階)

- 施工段階のUDワークショップを開催。
- 学識経験者がアドバイザーとして、障がい関係者団体に所属する方々が参加。
- 3Dによる画像空間を活用して説明を行い、トイレショールームにて実際の使い勝手を確認し、意見を徴収した。センサー付音声誘導、発達障害児のためのサイン、異性介助のためのカーテン、介助犬スペースを確保する等の改善を図った。
- 今後、運用1年後(R9年)におけるフォローアップを開催予定。

バリアフリースイレイアウト例



開催風景（現地参加＋Web参加）



3Dモデルを用いた説明